

## 一人一人が夢をもち 未来を生きる力のある子

子どもたちを取り巻く社会は、めまぐるしく変化しています。本校は1982年の開校以来一貫して「一人一人が夢をもち 未来を生きる力のある子」を学校教育目標に掲げ、教育実践に力を尽くして参りました。

そして今、これからの社会を担う子どもたちには、確かな学力と豊かな知識、さらには柔軟かつ多面的な思考力をもとに判断力を鍛え、多様な文化的背景をもつ人々と信頼関係を構築し、自分の個性を活かして協働できる力を身につけてほしいと考えます。

そのために、国立大学法人附属の小学校である本校は、①教育研究 ②教育実習 ③地域の教育への協力を使命として、子ども達の尊い「命」と限りない「可能性」を拓き、「夢と希望」を育むために、常に学ぶ主体である子どもに価値判断を置き、教師はその使命を自覚し、研鑽を積み重ね質の高い指導を実践することで、保護者をはじめ教育行政、地域から信頼される学校教育の充実に努めていくことを基本理念としています。

俳人松尾芭蕉の提唱した「不易流行」。これは俳諧に対して説かれた概念です。折々の課題に学び応えつつ、そこに新古を超え、永遠の生命を持つ本質的な姿を洞察する力を養う。すなわち、学校は自律的な教育実践力を培う場として、子どもたちの多様な個性や文化的背景を活かした「豊かな学び」を創造し、多層的な「つながり」の中で子どもたちの確かな学力を育てていく、そんな「つながりあう知」の楽しさや喜びを大切にしていきたいと考えます。今年度も教職員一丸となって邁進して参りますので、引き続き大学関係者、保護者の皆様、そして地域の方々の御理解と御協力を宜しくお願い致します。

2018年4月

国立大学法人琉球大学教育学部附属小学校 学校長 辻 雄二